



水質保全が海外
研修員7人が金澤
副知事と意見交換
閉鎖性海域をはじめと
した水質環境の保全技
術、知識を学ぶため来
県した海外研修員が7日午
後、県公館に金澤副知事

を表彰訪問した。
国際協力機構(JICA)
A) 兵庫国際センターか
らの委託を受け、国際工
メックスセンターが毎年
実施している「沿岸域・
内湾及びその集水域にお
ける統合的水環境管理
コース」の研修員で、今
回はエジプト、イラン
など4カ国から7
人が参加した。

金澤副知事は、瀬
戸内海の水質保全に
取り組んできた経緯
を説明し、「豊かで美
しい海を取り戻すため、懸
念の努力をしている。研
修の努力を上げて、母国の
環境問題解決に役立てて
ほしい。一層の活躍を」と
激励した。

このあと、研修員が「日
本と参加国それぞれの国
と共同して環境問題の解
決に当たりたい」「日本
文化も深く理解したい」
と研修スタートに向けて
抱負を語った。

また、金澤副知事は、大
震災から15年が経過し
た。機会があれば被災し
た人から体験談を直接聞
いてほしい。きっと役に
立つことが多いはず」と
アドバイスした。

2日に入場者10万人突破



県立美術館(神戸市中央
区海岸通)で開かれている
特別展「水木しげる・妖
怪図鑑」の入場者が2日、
10万人に
達した。

○県立美術館の「水木しげる」展○ 開幕29日目、池田市の藤嶋静さん

藤嶋静さん(70)。この日、
夫の輝義さんと訪れ、会場
入口で係員に告げられて
知った。
「藤嶋館長から、水木さん
が描いた額入りの絵や展覧
会の図録などの記念品を贈
られた静さんは、「晴天の
霹靂(へきれき)です。子
育て時代に水木さんの作品
にふれましたが、何よりも
人間の魅力にひかれて
いますので、額は大切に
して飾ります」と話して
いた。

葛館長(左端)から贈られた記念品を
手にする藤嶋さん夫婦



谷公一衆院議員が
政経セミナー開催
「前への心意気で」
「民主党の代表選がマ
スコミを賑わせている
が、経済・景気対策がま
ともに議論されている
い。参院選後は政治状況
が大きく変わっており、
自民党が求める政策を
現している」と目
民党の谷公一衆院議員
が語った。

5日午後、豊岡市内
のホテルで弁護士丸
山和也参院議員を講師
に招いて政経セミナー
を開き、約600人の
支持者が参加した。

ひと百景 東西南北

まず、元日弁連会長の
久保井一匡後援会長が
「政治の混乱で国民の不
安が増幅。本心に力があ
る政治家を送り出す責任
がある」と支持を求めた。
次いで末松信介参院議
員は「政治家が地域に根
付くことの大切さを教え
てもらった。地方行政の
中心を担ってきた総合力
に期待したい」と言葉を
贈った。

タイの教育関係者
11人相互訪問で来
県、教育長を表敬
県教育委員会とタイ教
育省が共同実施する「A
SEAN諸国との教育関
係者交流事業」に参加す
るタイの教育関係者ら11
人が6日、県公館に大西
孝教育長を表敬訪問した。
県とタイの教育関係者
が相互訪問し、授業見学
や文化施設の視察など実
地体験を通じてそれぞれ

の教育活動に役立てるの
が目的。今年で5年目を
迎える。県側からは8月
中旬に同国を訪問した。
今回、来日したのはタイ
教育省職員及び学校の
校長、教頭ら11人。昨年
度、同事業でタイを訪れ
た大西教育長は「子ども
たちが自らの国の文化に
誇りを持ち、郷土、人を
思いやる心に感動した。
最も大切なことについて
示唆をいただいた」と感
想を語り、「県では高校
教育改革に取り組んでい
る。感じた意見を伝えて
ほしい」と求めた。

タイ教育省のジャクラ
パン・オンノム国際交流
課長は「相互交流を通じて
タイの教育は改善して
いる。日本にあってタイ
にはないものを学んで
帰りたい。教育の改善
は止めることはできな
いもの」と訴えた。

この後、一行は12日
までに県立西宮高校な
ど3校と、人と防災未
来センターなどを視察
した。13日に帰国する。

「ひょうご青少年社会貢献キャリア認定制度」



県青少年課と県 青少年本部が準備

県青少年課と県青少年本部は、子どもの健全育成事業などの社会貢献活動に参加した青少年が、そのキャリアを就職活動に生かせるシステム「ひょうご青少年社会貢献キャリア認定制度」の構築を目指して、準備を進めている。

「就活に有利」「人材発掘」の効果も
すでにモデル事業を実施

社会の担い手として
意識の高い若い人材の
育成や青少年団体の活
化を目的として実施す
るものだが、大学
生などにとっては
「就活に有利」、企
業サイドには「人
材発掘」の効果も
もたらすものとし
て注目されており、
今年度はすでに
決定し、制度の試
行を始めている。

制度の仕組み
は、①青少年育成
団体やNPOなど
「自分らしきで丹波に決めました。」

田舎暮らしアピールポスター
JR大阪駅などで定住誘い

8月下旬から今月上旬に
かけて京阪神間のJR、
阪急の主要駅で掲示さ
れ、関心を集めた。

都市住民に丹波地域へ
移住し、田舎暮らしを
実践している若い夫婦を
モデルに起用。笑顔で農
業に励む姿から、丹波の
豊かな自然の中で、自
らのライフスタイルを大
切にする生活をイメージ
させる。丹波県民局では、
大阪駅に掲示されたジャ
ンボポスター

「自分らしきで丹波に決めました。」
田舎暮らしアピールポスター
JR大阪駅などで定住誘い

8月下旬から今月上旬に
かけて京阪神間のJR、
阪急の主要駅で掲示さ
れ、関心を集めた。

都市住民に丹波地域へ
移住し、田舎暮らしを
実践している若い夫婦を
モデルに起用。笑顔で農
業に励む姿から、丹波の
豊かな自然の中で、自
らのライフスタイルを大
切にする生活をイメージ
させる。丹波県民局では、
大阪駅に掲示されたジャ
ンボポスター

一品料理から会席・季節の鍋物コースまで

豊福

◎4~5名様向小部屋から
50~60名様宴会も承
ります。

■阪急花隈駅東口上ル100m

★ご予約は ☎(078)341-2868